

原子力規制委員会物品・役務等に係る契約適正化監視等委員会
審 議 概 要

開催日及び場所	令和6年1月29日（月）18階A会議室
出席委員 （五十音順）	委員 南島和久（龍谷大学政策学部教授） 委員 前田泰宏（EY 新日本有限責任監査法人公認会計士） 委員 升田 純（升田純法律事務所弁護士） 委員 山形康郎（弁護士法人関西法律特許事務所弁護士）
審議対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
委員会概要	<p>1. 委員長選出及び委員会の運営等について 委員の互選により升田委員を委員長に選出。また、委員会の運営に関する事項等について了承。</p> <p>2. 令和4年度の契約に係る点検・見直しについて （1）全体の契約状況（契約方式、件数、金額等）及び 前回委員会意見を踏まえた取組 ・事務局から資料に基づき説明した。 （2）契約手続きの点検・見直し ・事前に抽出した個別案件について、担当課室からの説明及び質疑応答</p> <p>3. その他 会議全体を通じての意見・感想 他</p>
抽出案件 （総数9件）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競争入札方式 3件 ○ 参加者確認公募方式 1件 ○ 競争性のない随意契約 3件 ○ 不落随意契約 1件 ○ 政府調達契約 1件
委員の意見等	別紙のとおり

審議における主な意見、感想等

1. 全体の契約状況及び前回委員会意見を踏まえた取組

- ・特に意見はなかった。

2. 契約手続きの点検・見直し

- ・契約全体に占める一般競争入札の割合が増加傾向で改善しているため、今後もその方向で努力を続けること。

- ・内容が類似していると思われる案件で、異なる契約方式が採られていたため適切か確認すること。

- ・一者応札の割合が高止まっているため、事業者が入札参加を検討する期間を十分に確保できるよう、例えば、公告期間等が年末年始などを挟む場合は実質的な検討期間を考慮して設定するなどの方策を検討すること。

(会議運営について)

- ・限られた審議時間で説明を尽くす姿勢、監視されているという意識が十分であったとは言い切れないため、説明者は意識を改めること。
- ・本会議において配付資料のペーパーレス化を進めること。

以上